

平成16年度事業報告「教育実践部門」

塚野弘明*

(2005年2月7日受理)

1. 相 談

情報教育相談室

- (1) 盛岡市内の小学校においてパソコン指導研修会、情報倫理に関するコンサルテーションを行った。
- (2) 岩手県教育工学研究会において教育環境のデザインについての講演を行った。
- (3) 附属小学校の学校公開研究会の指導助言を行った。

2. プロジェクト

- (1) 現職教員研修プロジェクト
本年度は県教委からの派遣はなかった。
- (2) カリキュラム開発プロジェクト
 - (2-1) 複式学級・小規模学校プロジェクト
 - (ア) 複式学級の初心者用引き書を作成した。
 - (イ) 附属小学校の公開授業研究会において指導助言を行った。
 - (ウ) 学部地域教育実習の事前事後指導および実習を支援した。
 - (2-2) 自然環境教育プロジェクト
「プロジェクトワイルド」の講習会を開催し、環境教育に対する理解を深めた。
 - (2-3) 中等教育改革プロジェクト
岩手県の中高一貫教育および高等学校新整備計画をテーマとして勉強会、検討会を実施した。
- (3) 情報教育プロジェクト
盛岡市内の小学校において28回、計56コマのパソコン授業を実施し、本年度は総合的な学習の時間におけるパソコン活用を目的として情報教育カリキュラムの開発を行った。
- (4) 野外体験プロジェクト
小中学生を対象にした野外体験教育を推進すると共に、教育学部学生の実践的野外体験指導力の育成をはかった。竹馬・竹とんぼづくり、早池峰山登山、藤沢町歴史探訪

3. 研修・地域貢献等（詳しくは、平成15年度岩手大学教育学部地域貢献事業報告書No.2）

(1) 研修・地域貢献

本年度は、連携自治体が県内25市町村、事業は3領域で計17事業を実施した。

領域：①教員研修 ②学生派遣 ③生涯学習支援

① 教員研修

(1) 教職経験10年者研修支援事業（全市町村）

全60講座（夏34講座、冬26講座）、参加予定者260名、岩手大学にて実施。

(2) 教員の指導力向上研修事業（岩手県）

・心理的問題を抱えた教員の指導力向上を目的とした研修事業

(3) 教員のパソコン指導力研修事業（3市町村）

・教員のパソコン指導力向上を目的とした研修および学校ホームページ作成の支援。

(4) 学校不適応児等支援事業（8市町村）

・不登校、軽度発達障害児などが対象とした講演会、相談会、巡回相談、セミナー、グループ指導、親への支援、地域の支援システムづくり。

(5) 小規模・複式学級指導支援事業（全市町村）

・複式学級指導案データベース、指導の手引きの作成、学校公開研究会への支援など

(6) 現職教員研修会（盛岡市近隣市町村）

・会員制の研修会。ベテラン教員対象、年間6回の講演会。中堅教員対象、年間5回の講演会。

(7) 学校教育支援事業（岩手県8市町村、青森県1市）

・学力向上や総合的な学習などへの支援。学校の要望に応じて教員を派遣。

② 学生派遣

(1) 放課後チューター派遣事業（文科省事業、大迫町）

・大迫町小中学校5校に4年生、大学院生14名を派遣。T T、放課後指導など。

(2) 学力向上支援事業（文科省事業、盛岡市）

・盛岡市小中学校6校に4年生、大学院生22名を派遣。T T、個別指導など。

(3) 学生ボランティア派遣事業（全市町村）

・適応指導教室、児童館、公民館への行事などへの個人、サークルなどの派遣。

(4) 地域教育実習（3町村）

・複式学級や小規模学校（3地域）での2泊3日の教育実習。3年生以上80名が参加。
・学部正規カリキュラムとして検討中。

(5) フレンドシップ事業（2市町村）

・文科省の事業を引き継いだもの、地域との交流、野外体験学習、小学生パソコン指導等。

(6) G S I P（教員研修留学生スクール・インターンシップ・プログラム）（盛岡市）

・英語の授業や国際理解教育への支援。留学生7名と日本人学生4名を小中学校6校に派遣

(7) 日本語教育支援事業（盛岡市）

・留学生が帰国子女や外国人子女の日本語教育を支援。中学校2校に派遣。

③ 生涯学習支援

(1) 教育学部出前講座（3市）

- ・一般市民を対象にした出前講座、各地域の要望を聞いて教員13名を派遣

(2) 地域子ども教室推進事業（2市町村）

- ・地域の子ども教室推進事業を支援。学部教員、学生を要請に応じて派遣。

(3) サテライト教室（2市）

- ・TV会議システムを用いた岩手大学サテライト教室での一般市民対象の講演。

(2) シンポジウム等

複式・小規模学校（附属小）

自治体向け地域連携事業説明会